

メトホルミン塩酸塩錠/錠MT「トール」

を服用される方へ

血糖を下げる薬が処方されています。まれに**乳酸アシドーシス**や**低血糖症状**を起こすことがありますので、以下の点にご注意ください。

1 乳酸アシドーシスについて

① 乳酸アシドーシスとは

- 血中の乳酸が異常に増えすぎ、血液が酸性になった状態をいいます。まれな副作用ですが、治療が必要な状態です。乳酸アシドーシスは早期治療とともに予防も大切です。
- **吐き気がする又は吐いた、お腹が痛い、下痢をした、全身がだるい、筋肉痛になった、息苦しい**などの症状があらわれたときは、いったんこの薬を飲むのをやめ、**すぐに受診**してください。

② 乳酸アシドーシスを予防するには

- 乳酸アシドーシスを起こす危険性が高くなるのは、次のような場合です。

● 腎臓、肝臓、心臓や肺に病気のある方	● 脱水
● 過度のアルコール摂取	● 感染症
	● 高齢者

- 腎臓、肝臓、心臓や肺に病気のある方、透析を受けている方、以前に乳酸アシドーシスを起こしたことがある方は医師または薬剤師に申し出てください。
- 次の状態(シックデイ)のときは、脱水を起こすことがありますので、この薬を飲むのをいったんやめて、医師または薬剤師に相談してください。



- **脱水を予防するため、適度に水分をとるように心がけてください。**
- **お酒を飲みすぎないようにしてください。**

次のときには、この薬を飲んでいることを医師または薬剤師に伝えてください。

- 手術を受けるとき
- ヨード造影剤を使う検査や治療(造影CT、尿路造影、血管造影など)を受けるとき
- 他の医師から薬を処方してもらったときや、薬局などで他の薬を購入するとき

※この薬を飲んでいるときは、定期的に腎機能や肝機能の検査が行われます。腎臓に病気のある人、高齢の人では、検査の回数が増えることがあります。

裏面もお読みください。

2 低血糖症状について

① 低血糖症状とは

- 血液中の糖分が少なくなりすぎた状態です。症状は「めまい」「空腹感」「ふらつき」「手足のふるえ」「脱力感」「頭痛」「動悸」「冷や汗」「意識がうすれる」などです。
高所での作業、車の運転などの危険を伴う機械の操作を行うときは十分ご注意ください。

② 低血糖症状が起こったら

- 低血糖症状があらわれた場合はすぐに**砂糖**などをとってください。ただし、 α -グルコシダーゼ阻害剤：アカルボース、ボグリボース、ミグリトールと併用している場合は、砂糖ではなく必ず**ブドウ糖**をとってください。
- 低血糖症状を起こした場合は、必ず早めに医師に連絡してください。

③ 低血糖症状を起こさないために

- 薬の量や飲み方は医師または薬剤師の指導を守り、また食事療法や運動療法もきちんと守ってください。
- 食事時刻の遅れ、お酒の飲みすぎ、激しい運動、空腹時の運動、下痢などは低血糖症状を起こしやすいのでご注意ください。

3 この薬の飲み方について

- 薬の量や飲み方は、医師または薬剤師の指導を正しく守ってください。食事をとらなかったときに服用するかどうかは、医師または薬剤師に相談してください。
- 飲み忘れた場合は、次の服用の時間に1回分を飲んでください。
絶対に2回分を一度に飲んではいけません。

これらの内容はご家族やまわりの方にもお知らせください。

施設名